



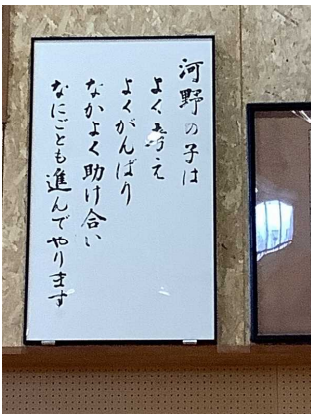
絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

目指す児童像～始業式の校長講話より～

■河野小学校の体育館には、こんな言葉が掲げられています。



体育館正面に掲げられています

河野の子は よく考え よくがんばり なかよく助け合い
なにごとに進んでやります

いつごろ、どのようないきさつで決まった言葉なのかは不明な
のですが、額に入れて最も目立つ体育館正面に掲げられていると
いうことから、きちんとした手続きを経てできた児童像だと推察
します。

この言葉を踏まえ、河野地区の現状、これからの時代を生き抜
くために求められることを加味して、学校の教育目標及び学校の
教育目標を見童向けにやさしくした「こんな子になってほしい」

を決めました。

令和4年度 学校の教育目標

ふるさとを愛し、主体的に行動できる児童の育成

目指す児童像（こんな子になってほしい）

○やさしい子

○よく考える子

○ふるさと思いの子

■4月11日の始業式で、「こんな子になってほしい」というテーマで初めての校長講
話をしました。概要を掲載します。

こんな子になってほしい！その2

よくかんがえる子



きれいにするためにそうじをする。

○○○○○ために
○○○○○をする。

講話で使用したスライドの一部

○やさしい子

困っている子を見かけたら、「どうしたの？」「な
にかできること、ない？」「おてつだいしようか？」
と話しかけるような子であってほしい。

○よく考える子

きれいにするために掃除をするなど、人の行動に
は必ず、それをやる理由、目的がある。何のために
それをやるのか？をいつも考えてほしい。こうする

とよいと自分で判断したことを、進んでやってほしい。

○ふるさと思いの子

みなさんは将来の河野を担う人。河野にはよいところがたくさんある（美しい海と越
前水仙を提示）。河野のよいところをたくさん知り、外部に発信してほしい。